

科目名称：東京大学公開森林実習

標準履修年次：3年

「森林と土砂と溪流の実習 –山から川に流れ出る土砂を測ろう–」

※科目は単位互換制度の対象外ですが、農学実験研習生として受け入れ、受講証明書を発行いたします（1単位相当）。
所属大学における単位認定の有無については、各大学の教務担当事務に問い合わせ下さい。

担当教員：石橋整司・田中延亮・佐藤貴紀（演習林生態水文学研究所）・熊谷朝臣・堀田紀文・小田智基（森林科学専攻）

実施時期：平成30年6月13日（水）～6月15日（金）2泊3日

集合時刻：平成30年6月13日（水）12:45

集合場所：名鉄瀬戸線 尾張瀬戸駅改札（自家用車の使用は禁止です）

アクセス方法：名古屋駅からJR中央本線に乗り、大曽根駅で名鉄瀬戸線に乗り換え、終点下車

実施場所：東京大学 大学院農学生命科学研究科 附属演習林 生態水文学研究所

URL <http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/eri/>

(問合せ先) 〒489-0031 愛知県瀬戸市五位塚町11-44

TEL: 0561-82-2371 FAX: 0561-85-2838

E-mail: eri@uf.a.u-tokyo.ac.jp (利用調整係)

(宿 泊) 生態水文学研究所赤津宿泊施設

〒489-0014 愛知県瀬戸市北白坂町 1-1 TEL: 0561-21-1185



野外で土砂量の計測



講義室で土砂量の算定



溪流の横断測量

対象学生：全国の大学で森林について学ぶ学部2～4年次生

定 員：10名（応募多数の場合は選考を行います）

なお、第2～3日は、東京大学農学部の学生も10名程度参加します。

実習課題：森林からの土砂流出量の実測、溪流の縦断・横断測量

実習内容：

第1日「土砂生産源を知る」：実習内容説明、土砂生産源となる尾根筋の崩壊地の踏査、既設治山ダム見学

第2日「土砂量を測定する」：堰堤に堆積した土砂量の測定、土砂の排砂体験、排砂した土砂量の算定、過去から現在までの土砂流出量との比較

第3日「溪流を測量する」：溪流の縦断測量、横断測量、成果発表、講評

<名鉄瀬戸線尾張瀬戸駅で17:00に解散>

参加費用：施設利用料免除、シーツ洗濯代200円、食費3食2日分4,000円（現地で徴収します）

集合・解散場所までの往復の交通費等は別途自己負担です。

提出書類：①受講願（様式は東大演習林HP <http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/ksj/>からダウンロードしてください）

②志望理由書（200字程度。様式自由）

③学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー

※なお、農学実験研習生の出願に必要な書類について、後日案内します。

提出先：東京大学演習林企画部（〒113-8657東京都文京区弥生1-1-1）、ksj@uf.a.u-tokyo.ac.jp

※「公開森林実習申込」とわかるよう、郵送の場合は封筒に朱書きし、e-mailの場合は件名に書いてください。

提出期限：郵送の場合 平成30年4月20日（金）必着

メールの場合 平成30年4月20日 17時まで

平成30年4月27日（金）頃に参加の可否をe-mailにてお知らせします。

キャンセルポリシー：定員制のため希望しても受講できない人がいる可能性に留意し、日程等をよく検討の上で申し込んでください。やむを得ず欠席する場合は、すみやかに連絡すること（直前のキャンセルについては実費の負担を求めます）。

